

会議結果報告書

令和2年8月5日

会議の名称	志木市教育委員会事務点検評価会議
開催日時	令和2年7月30日(木) 13時30分～17時00分
開催場所	いろは遊学館 3階 第1研修室
出席委員	井上 三芳 委員 星野 敦子 委員 (計 2人)
欠席委員	なし (計 0人)
説明員職氏名	教育サポートセンター 木村所長、大澤副所長 いろは遊学図書館 樺嶋館長 生涯学習課 山本課長、中原副課長、浅見主幹 教育総務課 成田課長、土崎副課長、安藤主任 学校教育課 福沢次長兼課長、大木指導主事、川瀬指導主事 (計 12人)
議題	1 本日の会議進行について 2 事業内容ヒアリング及び質疑応答
結果	別紙、審議内容については、質疑応答の記録による (傍聴者 0人)
事務局職員	教育総務課：成田課長、土崎副課長、矢部主査

事務点検評価会議

質疑応答

No. 39 教育相談事業

星野委員

相談員等の各学校への派遣頻度について教えてほしい。

各小学校に1名ずつ週1回5、6時間、各中学校に1名ずつ週4日となっており、中学校の空いた日は穴埋めのための人員を確保しています。

小中連携も行っていて、中学校相談員が関係する学区のスクールカウンセラーを兼ねることも行っています。

井上委員

改善点の中に中学校は週5日開室しているとあるが、事務事業報告書を見ると中学校の校内相談が昨年度から1.3倍になっていることから、そのような情報があって中学校に相談に行っているということか。

中学生は思春期で、家庭の状況を含めて色々な悩みを抱えています。教育サポートセンターへわざわざというより、学校で心を休めようとする気持ちで利用していると思われます。

No. 46 いろは遊学図書館事業

井上委員

ビブリオバトルについて、一次評価では参加者が全員市外であったとのことだが、周知不足なのか。

「広報しき」や図書館ホームページで周知しています。

市民にも参加していただきたいので、新型コロナの影響がなければ月1回小さい規模でビブリオバトルを実施して市民の皆様に浸透させる予定でした。

星野委員

図書館として、ビブリオバトルで上位入賞した作品についてアピールなどしているか。

ホームページで結果を発表しています。

1位に選ばれた作品のみを一定期間展示しています。

No. 43 社会教育・生涯学習推進事業

星野委員

達成した成果の内容に、子ども大学しき事業で市役所旧庁舎での市長等への取材や新聞の作成を行ったとあるが、実際の子ども達の様子はどうだったかを聞きたい。

普段は入らない市役所に入ったり、議場でカパルと一緒に写真を撮ったり、子ども達は未体験の出来事に興奮して喜んでいました。

井上委員

子ども大学しき事業は、総合テーマをどのように決めているのか教えてもらいたい。

実行委員会（十文字学園女子大学、NPO法人アンサーズネット、志木市教育委員会）の話し合いで決定しています。

今年度は、新型コロナの影響で実行委員会も開催できない為、今後の事業についても未定です。

No. 47 放課後子ども教室推進事業

星野委員

今年度市内すべての小学校で実施することとなった「志木っ子タイム」について、担当者の苦労や困難であった点を教えてもらいたい。

制度を導入するきっかけは、他の市町村は子ども達の人数が減っていますが、志木市は人口も子どもも増加傾向にあり、大規模マンションの建設などにより急激な学童保育利用者の増加による財政のひっ迫を危惧したことです。

志木市では、5時までにお迎えに来れるご家庭が多かったことから、この制度の導入に至りました。

制度について、保護者の方に理解していただくことが大変でした。

井上委員

達成した成果の内容に、「放課後子ども教室を実施することにより学力意欲が高まった等、保護者からの評価は高かった」とあるが、具体的にアンケートなどを行ったのか。

実際に子どもにアンケートを持って帰ってもらい、それを提出してもらいました。

No. 20 小学校巡回パトロール員・警備員配置事業

井上委員

市の方針として全面委託に移行するというのであれば、ボランティアをやっている方に納得していただけるよう上手く対応してもらいたい。

上手く引き継ぎたいと考えています。

星野委員

本来の趣旨を生かして、ボランティア同士の横の繋がりや、先生や生徒との交流などを検討すると変わってくるかもしれない。

心の部分を考えて工夫してほしい。

年度途中に体調不良等で急に辞められると、事務手続きを含め大変なところがあります。そのようなことを踏まえると、委託という選択肢になってしまいます。

No. 1 複数・少人数指導体制推進事業（スマート・クラス）

井上委員

学力が伸びる時は、学ぶのが楽しいとかこの問題を解きたいと思う時だと思いが、わからない子どもにスマート教員はどのように対応しているか。

一つのクラスに二人の先生だと、授業中に気が散ったりしないか。

練習問題を解いている時に後ろの黒板でわからない子どもを集めてスマート教員が教えるなど、担任の先生が色々工夫をして子どもがやる気が出るようなスマート教員の活用の仕方を考え、各学校で取り組んでいます。

星野委員

スマート教員が授業にどれくらい関わっているのか。授業の指導計画に入っているのか、あるいは担任の先生が補助的に使うのか。

3、4年生のスマート教員は民間の教育事業者から派遣された教員となっているが、塾の講師なのか。そうすると1、2年生と3、4年生のスマート教員の関わり合いが変わってくるのか。

スマート教員は担任の先生に基づいて指導にあたっています。例えば、一つのクラスを二つに分け、一つは担任が、もう一つはスマート教員が教えるということを行っています。

3、4年生のスマート教員に関しては、Z会グループの人材派遣を扱う会社と契約しており、民間のノウハウを担任の先生が学んで学力向上に役立っています。

昨年度は制度を始めたところであり、塾講師経験者が1人、残りの7人が契

約会社に登録し研修を済ませた者となっています。

No. 9 進路指導の充実支援事業

井上委員

中学3年生はどれくらい進路イメージができているのか。

学力テストによって客観的な数値で自分の学力を位置づけます。

さらに高校受験後を考え、市内事業所で就労体験をさせてもらっています。

学力テスト、就労体験の両輪を活用することにより進路イメージを考えてもらっています。

星野委員

外部テストを年3回家庭の負担なく受けられるというのは、進路を決める上で有益だと思うが、それをどのように実感しているか。

10年以上続けている事業ではありますが、学力検査の結果の検証と、その効果を保護者がどのように感じているかの調査を実施するなどが今後の課題と考えております。